



2014年4月27日

みなさん、こんにちは。

今回の「博物館だより」は、明石市制 95 周年記念 春季特別展「絵画でめぐる京都・美の探訪」関連イベントの講演会「京都と日本画—そのころ—」(4月20日実施)の様子と、ワークショップ「さをり織・ティーマット作り」についてご案内いたします。



講演会「京都と日本画—そのころ—」

4月20日(日)に講演会「京都と日本画—そのころ—」を開催しました。講師は神戸市立小磯記念美術館館長の島田康寛氏です。



講演会は、現在開催中の春季特別展「絵画でめぐる京都・美の探訪」に関連した「京都」に関する内容で、「ただ京都のことだけを話すよりも、比較した方が分かりやすいだろう」ということで江戸(関東)と比較。京都の人と江戸の人の美意識の違い。また、その違いが現代の関西人と関東人にも見受けられるといった事などをお話いただきました。

会場には約80の方が参加。1時間30分の講演会でしたが島田館長の楽しく穏やかな口調に、皆さん熱心にメモを取りながら講演を聴き、

講演会終了後は質問も出ていました。

参加された皆さんは「講演会」と「展覧会」をどちらも満喫し、とても充実した時間を過ごせたのではないのでしょうか。



「さをり織・ティーマット作り」

5月23日(金)に開催される「さをり織・ティーマット作り」について、ご案内いたします。

「さをり織」とは、どなたでも簡単に挑戦できる機織りです。是非この機会にご応募頂き、オリジナル・ティーマットを作ってください。



■「さをり織・ティーマット作り」※要観覧料

・日時:5月23日(金)10時~正午

・材料費:200円・定員8名

【応募方法】:氏名、年齢、郵便番号、住所、電話・FAX番号、「さをり織希望」を明記の上、はがき、FAX、メールで当館まで。(5月10日必着)※応募多数時抽選。

詳しい展覧会情報は
当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com>

次回の「博物館だより」をお楽しみに。